

ジャムハウス、小学生のためのコンピューター入門書『絵でわかるコンピューターとプログラムのしくみ』を12月3日に発売！

ITと教育の出版社、株式会社ジャムハウス（本社：東京都豊島区、代表取締役：池田利夫）は、アナログプログラミングも体験できる『絵でわかるコンピューターとプログラムのしくみ』を2021年12月3日（金）に発売します。

自然科学、テクノロジー、コンピューターサイエンスなど、さまざまな科学のテーマを取り扱う入門書「ときめき×サイエンス」シリーズの第7弾です。



本書は、豊富なイラストで「コンピューター」と「プログラム」のしくみをわかりやすく解説した、小学生に向けたITスキルを養う入門書です。解説文は、基本的に小学校3年以下で習う漢字を使っており、漢字・アルファベットにはすべてふりがなをふっていますので、子ども一人でも読み進められます。

コンピューターのしくみの章では、「CPUは部屋にいるあなた」「メモリーは学習づくえの広さ」のように、パソコンを自分の部屋にたとえて説明。身近なものにたとえることでイメージをしやすく、子どもの理解を促します。

プログラムのしくみの章は、ゲームのようにキャラクターのコマをゴールに進めることで、楽しみながらプログラミングの考え方を学べます。

巻末には、切り取って使える「プログラムカード」付き。パソコンやタブレットなどの端末を使わない、アナログプログラミングを体験できます。なお巻末カードは、無料でダウンロードできるPDF形式のデータも提供しており、書籍を切り取りたくない方にも対応しています。

小学校でプログラミング教育が必修化され、ITスキルがますます求められています。しかし、子どもたちが学ぶプログラミングは、高度な知識を必要とするような難しいものではありません。まずはコンピューターやプログラミングがどのようなものかを知り、親しむことが大切です。小学生が最初に出会うコンピューター、プログラミングの入門書として最適な一冊です。

【書籍概要】

- タイトル：絵でわかるコンピューターとプログラムのしくみ
- シリーズ：「ときめき×サイエンス」シリーズ⑦ジュニア
- 著：いけだ としお
- 絵：KAM（カム）
- 発売元：株式会社ジャムハウス
- 定価：1,760円（本体1,600円＋税10%）
- 体裁：A5変形判、オールカラー、92ページ＋巻末カード4枚、総ルビ
- ISBN：978-4-906768-98-1

【目次】

- 1章 コンピューターってなんだろう？
 - 2章 パソコンの中身ってどうなっているの？
～みんなの部屋にたとえてみよう～
 - 3章 プログラム、ソフトウェアってどんなもの？
 - 4章 アナログプログラミングをたいけんしよう
- 巻末付録：「プログラムカード」4枚付き

【書籍の紹介サイトとお求めはこちら】

●書籍サイト

<https://jam-house-media.themedia.jp/posts/23029351>

●Amazon

<https://www.amazon.co.jp/dp/4906768989/>

【会社概要】

商号：株式会社ジャムハウス
代表者：代表取締役 池田利夫
所在地：〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-3-12-302
URL：<https://www.jam-house.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ジャムハウス 担当：壁（かべ）
TEL：03-6277-0580
Email：mail@jam-house.co.jp